

4/12 パラオの伝統航海カヌーが与那原に寄港！

パラオ共和国から伝統的な航海術を駆使し、約3000kmの海を渡ったカヌー「アリンガノ・マイルス号」が与那原マリーナへ入港しました。

航海では、GPSやエンジンを使用せず、星や風の動きなど自然を頼りに目的地を目指す伝統航法が用いられました。台湾を経由して沖縄入りした乗組員20名は、玉城デニー知事や照屋勉町長、子どもたちなどから熱烈な歓迎を受け、笑顔を見せました。



写真提供/相羽としえさん

4/16 JAおきなわ与那原支店 親子健康手帳ケースを贈呈

JAおきなわ与那原支店より、JA共済オリジナルの親子健康手帳ケースが町へ寄贈されました。この寄贈は、地域貢献活動の一環として毎年継続して行っているものです。

ケースは、診察券や保険証などをまとめて収納できる便利な仕様となっており、贈呈式では赤嶺朋章支店長から照屋勉町長へ手渡されました。

ケースは今後、健康保険課において親子健康手帳の交付を受ける妊婦の皆さまへ配布します。温かいご支援に心より感謝申し上げます。



4/23 民生委員・児童委員 4名 厚生労働大臣感謝状伝達式

長年にわたり地域の安心を支え、昨年11月に退任された民生委員・児童委員の知念常子さん、高里良子さん、仲村和子さん、新里昇さんの4名に厚生労働大臣感謝状が贈られました。伝達式は町長応接室にて執り行われ、これまでの献身的な活動に対し、深く感謝の意が表されました。

知念さんが24年、高里さんが21年、仲村さんが17年、新里さんが15年と、いずれも長きにわたり活動を続けてこられました。また、皆さまは委員の職務に加え、多岐にわたる地域活動にも尽力され、その歩みは住民からの厚い信頼を集めています。長きにわたる多大な貢献に、心より感謝申し上げます。



町長隣から知念常子さん、高里良子さん、仲村和子さん、民生委員・児童委員連絡協議会会長の石川健一さん



新里昇さん



照屋勉町長 無投票で3期目の当選

4月14日に告示された与那原町長選挙において、現職の照屋勉町長が無投票で当選しました。同月21日の当選証書付与式では、与那原町選挙管理委員会の上原秀雄委員長から当選証書が手渡されました。

5月1日には就任式があり、照屋町長は職員を前に町政に取り組む抱負を表明。町民の皆さまの暮らしを支えるため、新たな任期のスタートを切りました。

町政のさらなる発展へ、町民とともに

3期目の就任にあたり、不
退転の決意で立候補し、引き
続き町政の舵取りを担わせて
いただくこととなりました。
改めてその重責に身の引き
締まる思いであり、心より感
謝申し上げます。

これまで2期8年、私は「町
民参加のまちづくり」を掲げ、
職員や町議会の皆さまと共
に、本町の課題解決に邁進し
てまいりました。

与那原町は今、東海岸の拠点
とし新たな時代を切り拓く重要
な局面にあります。本町は「コ
ンパクトな町」という強みを持
ち、顔の見える温かいコミュニ
ティが息づいています。

この特性を最大限に活かし、
私は3期目のスタートにあた
り、次のビジョンを掲げます。

1. 子育て支援の充実と
教育環境の整備
2. 伝統文化の継承と
観光・産業の活性化
3. 高齢者が安心して暮ら
せる地域福祉の構築

Profile 照屋 勉

昭和37年生まれ。
昭和60年、与那原町役場採用。
税務課、教育委員会、企画室等を
経て財政課長、総務課長。
平成25年教育長、平成26年副町長。
平成30年町長初当選。現在3期目。
特技・趣味
カチャーシー、落語観“笑”



「仁の精神」を胸に、町民
の皆さまの声に耳を傾け、誰
もが「住んでよかった」と実
感できる、さらに輝く和那原
町実現のため、粉骨砕身、職
員一丸となって取り組んでま
いります。

今後とも、町政への変ら
ぬご理解とご協力を賜ります
よう、切にお願い申し上げます。
就任のあいさついたします。